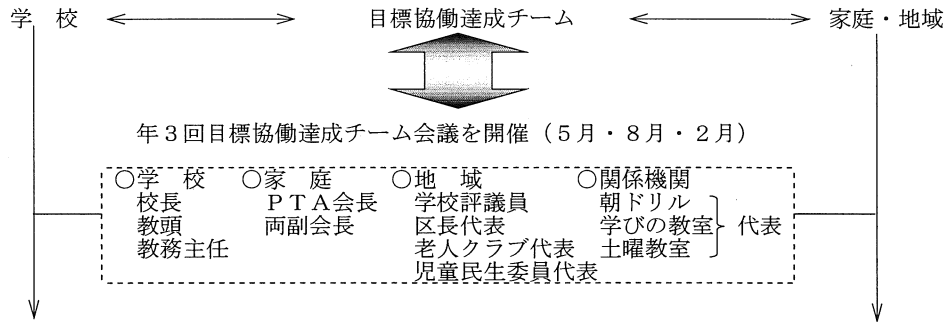


平成26年度 目標協働達成モデル校（案）

国東市立竹田津小学校



学校・家庭・地域が協働して達成する 重点目標 <勉強に頑張る子の育成>		
達成指標 （具体的な数値目標）		
■ 全学年とも、全児童の各学期毎の国語、算数、理科の各単元テストの正答率を75%以上 ■ 国東市標準学力テストで、全学年で全児童の正答率を1割向上		
重点取組 （そのために重点的に取り組むこと）		
家庭	学校	地域
①<授業改善> ②<ドリルの充実と個別指導の徹底> ○ 朝ドリルのサポーター、学びの教室等の指導者として参加協力する ③<家庭学習時間の向上> ○ やる気を育てる声かけ運動に取り組む ○ ノーテレビ・ノーゲームに取り組む	①<授業改善> ○ 考えさせる場を適切に位置づけ、交流とまとめを大事にする授業を徹底する ②<ドリルの充実と個別指導の徹底> ○ 朝ドリルの充実と個別指導の徹底によりつまづきを改善する ③<家庭学習時間の向上> ○ 家庭の学習時間を向上する	①<授業改善> ○ 学校公開日に積極的に授業参観を行う ②<ドリルの充実と個別指導の徹底> ○ 朝ドリルのサポーター、学びの教室等の指導者として参加協力する ③<家庭学習時間の向上>
取組指標 （具体的に取り組む内容）		
家庭が取り組むこと	学校が取り組むこと	地域が取り組むこと
①<授業改善> ②<ドリルの充実と個別指導の徹底> ○ 毎週火・水の朝ドリルの時間に学習サポーターとして参加協力する ○ 毎週水曜日の放課後学びの教室月1回実施する土曜教室に指導者として参加協力する ③<家庭学習時間の向上> ○ 1週間に1回、連絡ノートにやる気になった言葉やその反応を記し、担任と交流する ○ 毎週月曜日、ノーテレビ・ノーゲームに取り組む（レベル3を中心に）	①<授業改善> ○ 管理職による授業観察を毎日行う ○ 各学期互見授業1回、年に1回全員公開授業を実施する ○ 毎学期末毎に、「子どもによる授業評価」を実施する ②<ドリルの充実と個別指導の徹底> ○ 朝の帯時間の20分間ドリルを実施する 月→国語（音読・言語事項） 火→算数（計算・文章題） 水→国語（長文） ○ 個々の学習カルテ（国語）を作成し、個別指導に活用する ○ 全学年とも、月火木金の放課後の時間に個別指導を行う ③<家庭学習時間の向上> ○ 毎月、担任が家庭学習時間が確保されているか、月はじめ一週間の生活見直しカードをチェックし指導する 低→20分 中→40分 高→60分 ○ 2ヶ月に一度、児童が家庭学習力チェックリストをもとに点検を行う	①<授業改善> ○ 各学期2回ずつ（5月・6月・10月・11月・1月・2月）行う学校公開日に各区、各老人クラブ（5地区）より毎回3名ずつ以上、学校評議員、児童民生委員より毎回3名ずつ以上、計33名以上授業参観を行う ○ その都度、できるだけ授業の様子や子ども達の様子についてアンケートに答え、提出する ②<ドリルの充実と個別指導の徹底> ○ 毎週火・水の朝ドリルの時間に学習サポーターとして参加協力する ○ 毎週水曜日の放課後学びの教室月1回実施する土曜教室に指導者として参加協力する ③<家庭学習時間の向上>